



地域ぐるみで張り切りました



初公演の英語劇「桃太郎」

地域づくりにハッスル

町民文化祭では芸術の秋に

ふさわしく、観客をよわせるような音色をかなでたドラム & ハープ・フルートコンサートや町民の多くの方々の趣味や特技を生かした作品、また、公民館活動での日頃の成果などが発表されました。

演芸の部では、舞踊や民謡、カラオケ、今回はじめての公民館英語クラブによる英語劇「桃太郎」などが演じられ目新しい出しものに人々は目を見張っていました。このほか、北清水地区が地域づくりにと毎晩励んだ「祭り囃子」の発表など、友達や近所人たちの演芸にカメラのフラッシュが盛んに向けられていました。



みごと恋できですわ



かわいい作品が勢ぞろい



神秘的な音色に場内はシーン

11/3~5
町民文化祭

文芸

俳句

蕉門を貫く一路去来の忌

宇井 芝童

冬に入る笹がき牛蒡の水の色

海保 きみ

黙しるることも大事や草紅葉

勝又やすのり

一燭に二人の夜なべ無口なる

鈴木 草庵

草じらみ付け来しままに脱ぐズボン

鈴木 南知

赤い羽根駅前広場声若し

戸村 静華

行つて来ますと赤い羽根つけ靴

行方はじめ

紅葉晴れリュックの中の水の音

成田栄三郎

敬老会初の招ばれに薄化粧

若梅あやめ

大冬瓜窪みを下に据はりよし

(選者) 土屋 栗水

短歌

古稀をこえいまだ歎とるてのひらのたこのみ知るや吾の過ぎこし
秋葉 とく

誕生日の祝ひに人形ねだりたる孫と連れだち街に出てきぬ
池田 春江

野の匂ひ嗅ぐがごとくに赤ペコが窓吹く風に首を振りつぐ
大場 和可

ゴルフ場できて住処を追はれしか狸夜な夜な里に出てくる
掛川 友代

秋深き大気の中に返り咲く桜の花の白きを仰ぐ
向後 泰治

田まで売り学ばせし子は家つがず老いの二人は今日も鎌研ぐ
斎藤 要

ただひとり起き伏す父の綴りるノートが机の上に置かるる
佐瀬 初音

筑波嶺の岩の合ひ間に赤とんぼ湧くかに群るる夕光のなか
津田 若菜

房総を過ぐ台風の荒波に注ぐ川水渦をなしゆく
土屋 栗水

父の乗る車と同じ玩具買ひ孫が帰り来るを待ちあつ
(選者) 斎藤つね子

